

日本ホワイトヘッド・プロセス学会 第37回全国大会

日 程 : 2015年9月19日(土)～20日(日)

会 場 : 北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟(W棟)

9月19日(土)

<理事会> 会場: 文学部研究棟 613

時間: 12時～13時30分

<公開シンポジウム>

「ホワイトヘッドと田辺元」

会場: W201

時間: 14時～17時00分

提題者

田中 裕(上智大学)

尾崎 誠(山陽学園大学)

竹花洋佑(北海道大学)

司会 田口 茂(北海道大学)

<特別講演>: "Tragic Beauty in Whitehead and Japanese Aesthetics"

会場: W201

時間: 17時～18時

Steve Odin 先生 (ハワイ大学)

<懇親会> 会場: Osteria EST EST EST (札幌市北区北9条西2丁目4-1)

時間: 18時30分～20時30分

9月20日（日） 研究発表（発表25分、質疑応答15分）

発表グループ1（会場：W201）

10:00～12:00 ワークショップ

「ホワイトヘッド哲学と〈他〉」

提題者 飯盛元章（中央大学）

清水友輔（中央大学）

佐藤陽祐（中央大学）

司会 吉田幸司（日本学術振興会特別研究員 PD）

14:00～14:40 吉田幸司 『ムーア・ラッセル以降の英米哲学と
ホワイトヘッド』

司会・コメンテーター：荒川善廣

14:40～15:20 守永直幹 『哲学の懺悔—田辺元と有機体の哲学』（仮題）

司会・コメンテーター：荒川善廣

15:20～16:00 有村直輝 『ホワイトヘッド哲学における「両立不可能性
incompatibility」について』

司会・コメンテーター：田中 裕

発表グループ2（会場：W205）

9:20～10:00 猪原政治 『組織における「具体者置き違いの誤謬」の回避

—ホワイトヘッドの「合生過程」と上野陽一の「能率」をもとに—』

司会・コメンテーター：谷口照三

10:00～10:40 伊藤重行 『A. N. ホワイトヘッドとA. H.ジョンソン：最後の
弟子の記録』

司会・コメンテーター：谷口照三

10:40～11:20 平田一郎 『為としての現実的存在の解釈について』

司会・コメンテーター：本郷均

11:20～12:00 濱崎要子 『ホワイトヘッドにおける自然の美的直観について
—ワーズワースの自然詩を題材にして—』

司会・コメンテーター：本郷均

14:00～14:40 山浦雄三 『ヒュームとホワイトヘッ드의哲学に見る宗教/哲学/
科学の関係』

司会・コメンテーター：菱木政晴

14:40～15:20 酒井ツギ子 『絵本画家葉祥明の世界観とホワイトヘッ드의有
機体哲学』

司会・コメンテーター：菱木政晴

15:20～16:00 花岡永子 『「場所と媒介」の宗教哲学的探究

—西田幾多郎とA. N.ホワイトヘッ드의哲学を介して—』

司会・コメンテーター：村田康常

研究発表タイムスケジュール

時間／会場	W201	W205
9:20～10:00		発表者：猪原政治 司会・コメンテーター：谷口照三
10:00～10:40	ワークショップ	発表者：伊藤重行 司会・コメンテーター：谷口照三
10:40～11:20	ワークショップ	発表者：平田一郎 司会・コメンテーター：本郷均
11:20～12:00	ワークショップ	発表者：瀧崎要子 司会・コメンテーター：本郷均
12:00～13:00	昼休憩	
13:00～13:50	総 会	
14:00～14:40	発表者：吉田幸司 司会・コメンテーター：荒川善廣	発表者：山浦雄三 司会・コメンテーター：菱木政晴
14:40～15:20	発表者：守永直幹 司会・コメンテーター：荒川善廣	発表者：酒井ツギ子 司会・コメンテーター：菱木政晴
15:20～16:00	発表者：有村直輝 司会・コメンテーター：田中裕	発表者：花岡永子 司会・コメンテーター：村田康常

9月20日（日）

ワークショップタイトル

ホワイトヘッド哲学と〈他〉

ワークショップ概要

ホワイトヘッドは、主著『過程と実在』において独自の形而上学体系を展開した。彼がそこで目指したのは、人間だけでなく、宇宙におけるあらゆるタイプの存在者がその例証となるような形而上学的図式を構築することであった。あらゆる存在者は調和的・全体的なコスモスのもとに、同一の形而上学的原理で記述可能なものとして描き出される。こうして、一方では、〈同〉への希求がホワイトヘッドを駆り立てていたのである。

だが他方で、ホワイトヘッドは、このコスモスの〈同〉にあらがう要素についても描き出している。コスモスを織りなしていく存在者たちは、それぞれが個別的な存在者である。それら存在者たちは、個々の立脚点から固有の宇宙をひらきつつあり、因果的に独立している（共時的な〈他〉）。また、つぎつぎと生成してくる存在者たちは、それまでには存在しなかった新しさをともなって生起すると考えられる（通時的な〈他〉）。このようにホワイトヘッド哲学のうちには、コスモスの〈同〉を攪乱する〈他〉の側面が描かれている。さらには、そうした図式を提示するホワイトヘッド哲学そのものが改訂され、〈他〉なるものへと書き換えられていく可能性さえも含んでいる（方法論的な〈他〉）。

本ワークショップでは、このようなさまざまな〈他〉に着目してホワイトヘッド哲学を読み解きたい。

大会期間中の休憩室について

大会期間中はW棟の休憩スペース（別紙W棟案内図をご参照ください）が休憩室としてご利用いただけます。また20日の昼食については、会場すぐそばの中央食堂が営業していますので、そこで昼食をとることもできます。パン屋や生協の店舗も営業しています。